



チューモくん日記 #文房具 ~ノート編~

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

「チューモくん日記」では、本校やその周辺のことについて語っていきます。

春になると、よく、「どんな文房具が使いやすいですか？」と聞かれることが多いです。

そこで、今回は、チューモくんのノートのコレクションを紹介します。

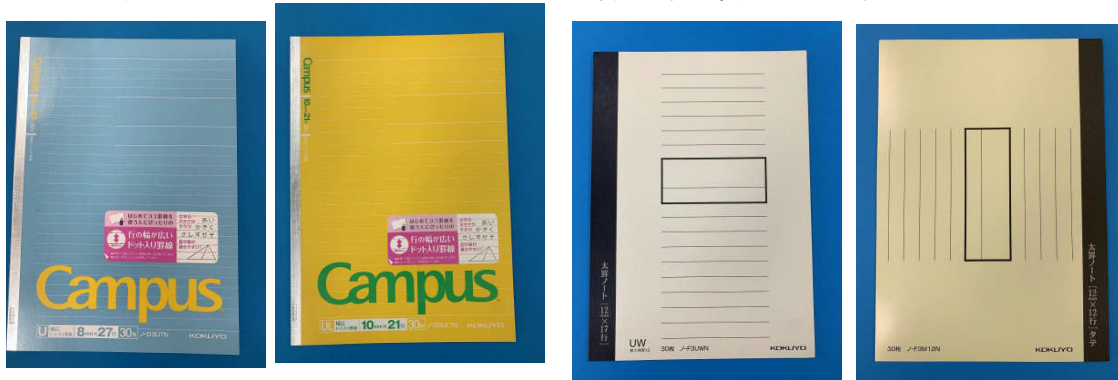
「なかなか幅の広いノートが見つからない」

小学校高学年や中学生以上になると、そんな声が聞こえてきます。小学生用のノートだと、ます目や罫線など、いろいろな大きさ・幅のノートがあるけれど、学年が上がるとそんなに種類がないからです。

一般的に売られているノートには、A罫、B罫という2種類があります。

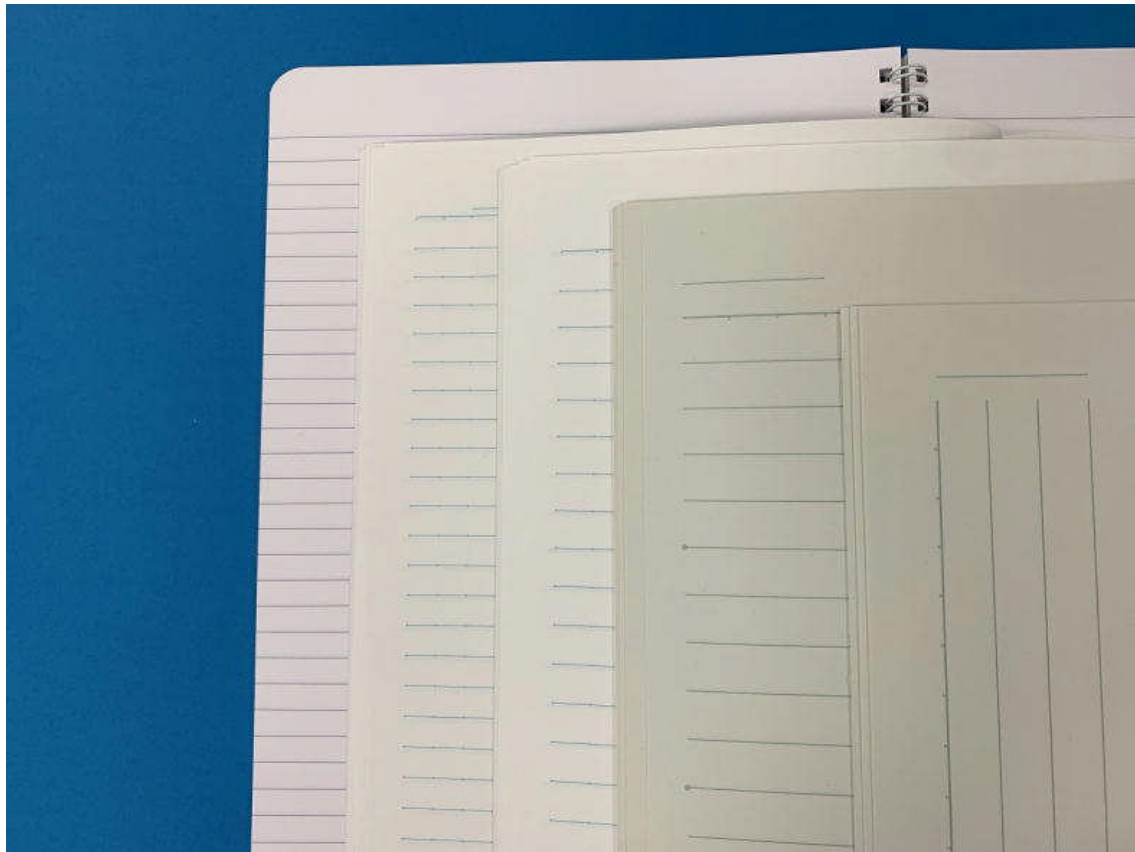
B罫は6mm幅、A罫はちょっと広い7mm幅ですが、弱視の人の見え方によっては、A罫でも狭くて使いづらいことがありますね。

僕が持っているコクヨのノートは4種類。罫の幅が、A罫よりも広いのです。



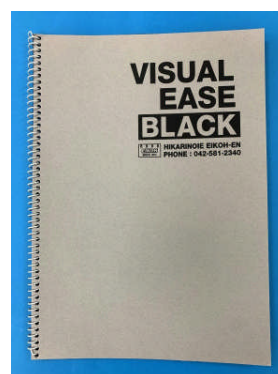
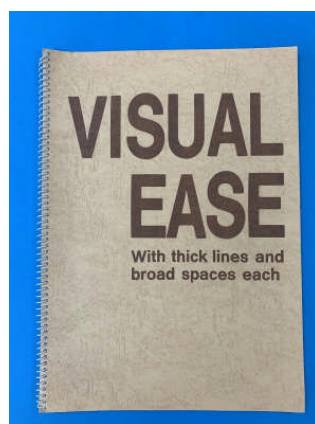
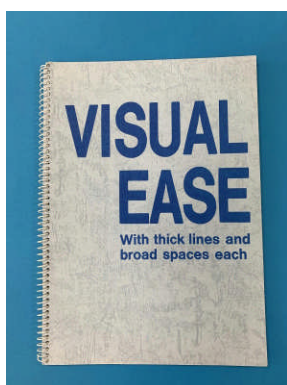
左から、8mm罫、10mm罫、12mm罫、12mmの縦罫です。

中を比べてみると…

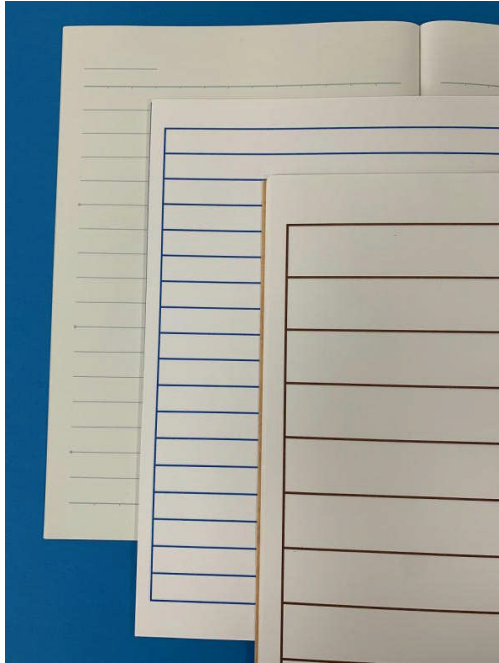


左から、A罫（7mm）、8mm罫、10mm罫、12mm罫、12mmの縦罫。
12mm罫の2冊は、紙の白さも抑えられていて、まぶしさのある人にも優しいですね。

罫線そのものが細くて見えにくいという人には、VISUAL EASE（ビジュアルイーズ）というシリーズがあります。

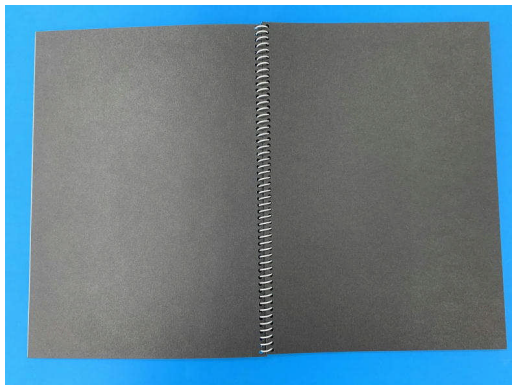


左から、B5判12mm罫、A4判24mm罫、B5判BLACK



左から、コクヨの12mm罫、VISUAL EASEの12mm罫（B5判）、20mm罫（A4判）。

12mm罫（B5判）でも、24mm罫（A4判）と同じように紙の白さを抑えた茶色の罫線のものもあります。自分の見え方に合わせて選んでください。



VISUAL EASE BLACKは、真っ黒なノートです。

白いノートだとまぶしくて見えにくい人が使います。

白いペンを使って書きます。

VISUAL EASEシリーズには、この他にも、マス目のものなどさまざまな種類がありますので、ネット検索などで当たってみてください。

弱視の人は、みんなそれぞれ見え方が違うので、「これが絶対に一番」というものはありません。

他のメーカーからもいろいろなノートが出ているので、自分が一番見やすい、使いやすいものを探して使ってくださいね。